

令和6年度実務・実践発表大会概要

令和7年2月21日（金）

社会福祉法人阪神福祉事業団

発表施設	内 容
障害者支援施設 ななくさ新生園	<p>【地域いこう！～ご本人の思いを大切にしたい支援の実践のために～】</p> <p>ご利用者の地域移行に向けた取り組みについて、ご本人やご家族の思いなどを尊重しつつ、現状の課題やリスクなどを分析し、取り組んだ内容や報酬改定による障害者支援施設の機能と変化、今後の新生園の在り方についてまとめ発表した。</p>
特別養護老人ホーム ななくさ白寿荘	<p>【10年後のわたしへ～白寿荘が描く 地域共生社会への貢献～】</p> <p>白寿荘が平成26年より取り組んできた地域貢献活動（認知症サポーター養成講座、認知症予防体操講座、認知症カフェ「丸山カフェ」）のこれまでの振り返りと、これからの地域共生社会への貢献に向けて白寿荘が出来る、新たな取り組みなど、10年後を見据えた展開についてまとめ発表した。</p>
障害者支援施設 ななくさ清光園	<p>【私らしく～言葉の向こうがわ～】</p> <p>清光園は開所当時（20年前）と比べてご利用者の高齢化、ADLの低下が進み、今まで出来ていたことが出来なくなり、結果QOLが低下している。そこで諦めるのではなく新たな生きがいを見つけることに着目し、ご利用者の思いや意向を尊重し新たな生きがい作りに向けて取り組んだ支援についてまとめ発表した。</p>
障害者支援施設 ななくさ育成園 ①	<p>【外出レクリエーションを通じた意思決定支援について】</p> <p>育成園の移転改築工事後、移転先は近隣にコンビニやスーパーマーケットなどが多く、幅広いご利用者を対象に外出レクリエーションを実施して支援を充実させる計画を立てた。着目したのが、「本当に本人が行きたいところなのか？」本人の意思をくみ取り、選択肢の幅を広げる意思決定支援に着目した支援について発表した。</p>
救護施設 ななくさ厚生院	<p>【地域移行～入所している利用者が地域社会で自立した生活を送れるように～】</p> <p>入所しているご利用者が地域社会で自立した生活を送れるように個別ニーズに応じた支援を行うことを重要視し、地域移行へのプロセスを見直した。ご利用者が自立した生活を送れるようにプログラムを確立し取り組んだが、厚生院や関係機関のみでは様々な支援行っても対応が難しい部分もあることがわかったため、地域社会全体で支えていくことや就労後のフォローについてまとめ発表した。</p>
障害者支援施設 ななくさ育成園 ②	<p>【住み慣れた場所で長く過ごして頂くための「できる」と「したい」～ダウン症高齢期におけるADL低下と向き合う～】</p> <p>育成園の3階は身体機能、認知機能の低下により、日常生活において介助を必要とするご利用者が多数おられ、職員の介護技術、専門技術の向上が喫緊の課題となっている。高齢化に伴う、QOLの低下や身体機能の低下（嚥下機能（食物を飲み込む力）の低下、下肢筋力の低下など）に対応するべく、機能維持の方法や介助方法の見直しなどの取り組みや余暇活動の充実についてまとめ発表した。</p>

※順番は発表順。